

センタープロジェクト紹介

科学研究費基盤研究(C) 「東アジアの高齢者就労の比較社会学」

代表研究者：瀬地山角

もともと東アジアの諸社会（日本、韓国、台湾、北朝鮮、中国）におけるジェンダーの比較社会学が私の専門で、おもに既婚女性の労働パターンが同じ資本主義の日韓台で大きく異なり、逆に韓国と北朝鮮、台湾と中国の間に共通の現象を見いだすことができるというのが、私の議論の出発点である。

そこから同様の構図が高齢者の労働パターンに関しても看取できると考え、調査を始めたのが2018年からスタートした科研である。まず2018年に台湾に行き、台湾大学で資料収集と講演／討論をし、高齢者就労の不活発な状況が、どのように理解・解釈されているかを探ることから始め、2019年には中国社会科学院と山東大学で研究発表をした。

今年はコロナ禍の影響で、一切の海外出張ができず、現地調査がまったくできない状態となって、実質的には研究を休眠状態とせざるを得なかった。先に進めることはできなかったが、昨年度に中国での学会で報告をしたものが、2021年春までに日本語と中国語で活字になる予定で、この作業が今年の科研費に関係する作業となる。中国や台湾の感染はほぼ収束しつつあるが、日本からの入国が認められるめどは立たないので、2021年は文献調査などに切り替えざるをえない。